

◆司法長官ロバート・ケネディとFBI長官エドガー・フーヴァーの対立

GALE PRIMARY SOURCES

Archives Unbound

Archives Unbound アーカイブス・アンバウンド

FBI図書館所蔵資料デジタル・アーカイブ

ロバート・ケネディ FBI 調査記録

FBI File on Robert F. Kennedy

(Source Institution: Federal Bureau of Investigation Library / Content: 6 Manuscripts, 807 images)

FTE (学生数+教職員数)	5,000 以下	5,001~15,000	15,001~30,000	30,001 以上
買い切り価格	価格は弊社までお問い合わせください			

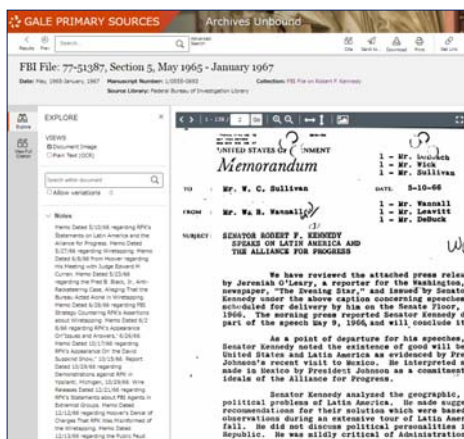
※正式な見積価格は最寄りの弊社営業員に別途ご用命ください。

※年間管理費(ホスティング・フィー)は不要です

ジョン・F・ケネディの実弟であり、ケネディ政権で司法長官を務め、1968年大統領選に民主党候補として出馬し、大統領選の最中に暗殺されたロバート・ケネディ。ロバート・ケネディは司法長官時代から暗殺されるまで、連邦捜査局(FBI)の特別監視下に置かれていました。FBIがロバート・ケネディを監視下に置いたのは、FBI長官J.エドガー・フーヴァーとロバート・ケネディが政治的に対立していたことが背景にありました。フーヴァーは、組織上は上司に当たる司法長官のケネディの方針に不信感を抱き、ケネディ政権の組織犯罪や南部の人種隔離に対する闘いで両者の対立は表面化しました。

本データベースはFBIによるロバート・ケネディの監視記録を電子化したものです。FBIによる監視は1962年に始まり、ロバート・ケネディの日々の行動、テレビへの出演、演説を記録しています。ケネディがFBI長官の交代を目論んでいるのではないかの疑念は常にフーヴァーの頭から離れることがなかったと言われていますが、ケネディは本気でフーヴァーの交代を検討していたことを収録文書は示しています。盗聴を巡る確執も文書で大きな比重を占めています。組織犯罪の証拠集めのため、FBI捜査官が盗聴という手段を用いる権限を与えたのは誰かをめぐる司法省内の議論として始まった問題について、盗聴の使用と範囲に関する正しい情報が齎されていなかったとケネディが主張したことに対して、すべて知っていた司法長官が盗聴を許可したことを示唆する覚書をフーヴァーが報道機関に公表したことで、両者の対立が表面化しました。フーヴァーがケネディに激しい不信感を抱いていたことは、フーヴァー自身が文書に記した手書きのメモが示しています。

本データベースに収録される文書はFBIのワシントンファイルのもので、情報公開法に基づき開示されたものです。



※本コレクションは Scholarly Resources 刊行のマイクロフィルム FBI File on Robert F. Kennedy をデジタル化したものです

第一級の学術研究史料をデジタル化！詳細は弊社まで

日本総代理店 **極東書店**

FAR EASTERN BOOKSELLERS
KYOKUTO SHOTEN LTD

〒101-8672 東京都千代田区神田三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル
〒600-8357 京都市下京区柿本町 579 五条堀川ビル
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴 1-3-14 小榎ビル

03(3265)7531 FAX (3556)3761
075(353)2093 FAX (353)2096
092(751)6956 FAX (741)0821

URL: <https://www.kyokuto-bk.co.jp>

E-mail: info@kyokuto-bk.co.jp

